

南白小の未来をえがく！

令和5年3月14日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

第27号

生徒会・児童会の交流会

六中の生徒会の発表、さすがです



南白小も堂々と発表しました

六中地区（六中、四小、小柳小、南白小）4校の生徒会・児童会が集まり、自分たちのやっている活動の紹介、これから交流したいことなどを発表しました。南白小の計画委員会も、立派な態度で発表しました。

これから交流したいこと

①イベントに招待したい ②あいさつ運動の合同開催 ③地域のゴミ拾い

ついて発表しました。「自分たちがよりよく生活するために考え、実践する」という特別活動の原則に、学校全体で取り組んでいく、南白小の児童会のよさを感じました。

「あいさつミッション」
「ちょボラの宅急便」「たき火であったか」などに

ひばり教室のグループ指導…「さよなら会の準備」

さよなら会をするために決めること

- ①役割分担(司会、イベントの説明等)
- ②リクエストイベント
- ③メッセージカードの分担(誰が誰に読む)



教師は時には見守り

1年間、一緒に学習してきた同じグループの仲間と「さよなら会」をします。そのために、役割等を決めていきました。自分のことだけでなく、グループの仲間のことを考え、譲りあい、折り合いを付けて話し合います。お休みした友達のこととも考えました。

どうすれば、楽しくできる？

これから生きていく上で、仲間のことを思う「ソーシャルスキル」、「コミュニケーションスキル」を身に付けます。これは、「自分たちがよりよく生活するために考え、実践する」という特別活動の原則にあてはまります。生きていくために必要なスキルです。

ひばり教室の個別指導…それぞれの課題に応じた指導

個別の課題【苦手さ】(例)

- ① 微細運動(字のバランス、工作、リコーダー)
- ② 写すのが苦手(黒板を写す、手本を写す)
- ③ 粗大運動(縄跳び、ケンケンパなど)



プルタブワニ



先生うれしかったよ

工作が苦手な子供には、やはり微細運動のトレーニングが必要で

す。プルタブワニを作製しました。教師がモデルを示し、それを真似します。「何個、一緒に工作したかな。図工の作品は提出できたんだって。先生もうれしいよ。」という言葉に、1年間の成長を感じることができました。

写すことに苦手な子供は「眼球運動」がなかなかできないことが要因の場合があります。見て動作をすることで、眼球運動を鍛えます。最初はリズム遊びです。手の絵だと1回手をたたき、頭の絵だったら頭を触る、机の絵なら机をたたきなど、黒板に貼られた絵を見て動作するという「眼球運動」のトレーニングをし

ます。次は「数字タッチ」です。バラバラに貼られた数字を1から順番に触っていきます。数字を探すには眼球運動が必要です。子供が楽しそうに学ぶ様子は、どんな授業でも、気持ちよいものです。



うまくリズムよくできるかな



3はどこにあるかな